

【事業目的】

障害者の自立や社会参加を支援する機器や技術の開発は、マーケットが小さい、経費的な問題からモニター評価が行えないといった理由から、実用的製品化が進んでいない状況にある。そこで、開発企業が障害当事者と連携して開発する取組に対して助成を行うことで、障害者にとって使いやすく適切な価格の機器の実用的製品化を促進する。

【事業内容】

- (1) 障害者の自立支援機器の開発(実用的製品化)に対する助成  
(平成29年度は、開発テーマに「障害者の就労支援機器」を追加)
- (2) シーズ・ニーズマッチング強化事業

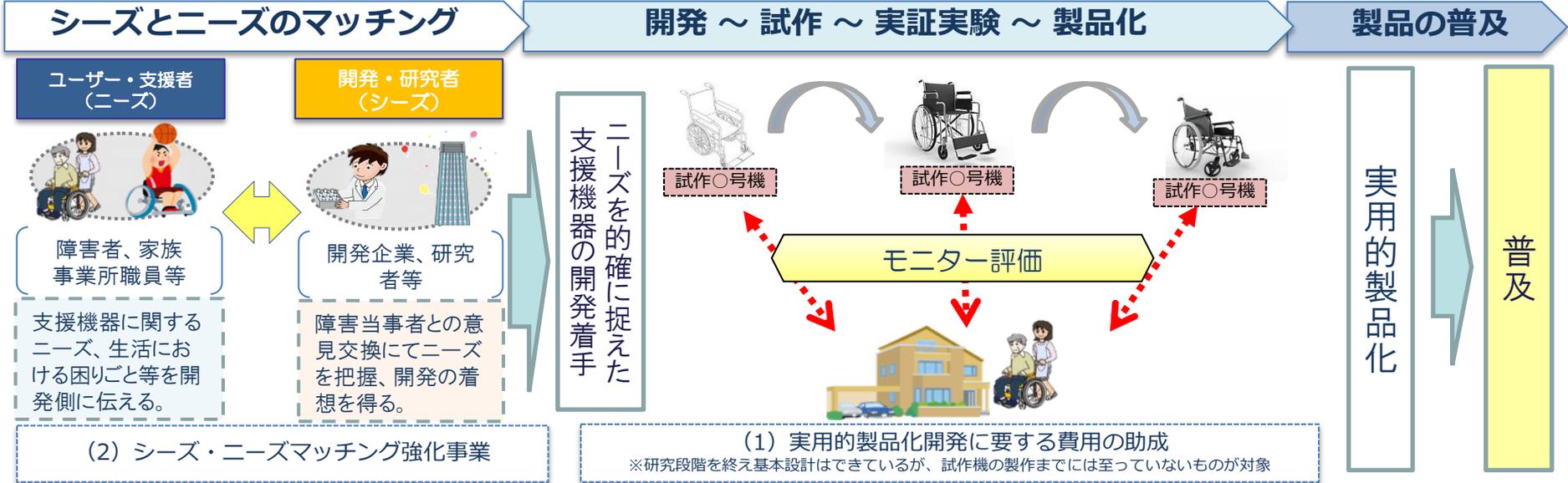
【実施主体】

民間団体 ((1)は、民間団体が開発企業等を公募して開発費を助成)

【補助率】

平成29年度は、(1)は2/3にかさ上げ(大企業(資本金3億円超)は1/2)、(2)は定額

ニーズ把握から製品販売までのイメージ図



# 障害者自立支援機器等開発促進事業 開発テーマ（平成29年度予定）

- 1 肢体不自由者の日常生活支援機器
- 2 視覚障害者の日常生活支援機器
- 3 聴覚障害者の日常生活支援機器
- 4 盲ろう者の日常生活支援機器
- 5 難病患者等の日常生活支援機器
- 6 障害者の就労支援機器（平成29年度新規追加）
- 7 障害者のコミュニケーションを支援する機器
- 8 障害者のレクリエーション活動を支援する機器
- 9 障害児の生活を豊かにする支援機器
- 10 ロボット技術を活用した障害者の自立支援機器
- 11 脳科学の成果を応用した支援機器
- 12 その他 ※福祉用具ニーズ情報収集・提供システムに寄せられた意見・要望

※福祉用具ニーズ情報収集・提供システム：<http://www.techno-aids.or.jp/>

平成22年2月から一般財団法人 テクノエイド協会によって運用されている、**福祉用具の利用者の声を開発者側と結ぶ**ウェブサイト。福祉用具に関する掲示板として、インターネットを通じて、**自宅から誰でも手軽に活用できる**システムとなっており、寄せられた要望・アイデアは、福祉用具の開発者の方へ定期的に届けられる。

厚生労働省ホームページ 【障害者自立支援機器等開発促進事業】  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/cyousajigyou/>